

## 北広島市長期総合計画審議会 第5回産業・都市部会 議事録

\*\*\*\*\*

■日 時 平成21年10月28日（水） 19：20～20：15

■会 場 芸術文化ホール活動室1

■出席委員

伊藤寛部会長、大木克夫委員、麻生昌裕委員、穴田廣光委員、遠藤智恵子委員、  
小池隆史委員、鈴木康熙委員、藤野伸之委員、森國 聡委員、吉田俊一委員

■事務局

木下信司総合計画課長

■傍聴 なし

\*\*\*\*\*

### 1. 開 会

### 2. 部会長あいさつ

【部会長】 前回は全体会議と部会に出席できず、大木部会長代理をはじめ皆様たいへんご迷惑をかけた。今日は、まず事務局の説明を受けてから、議論を進めるのでよろしくお願ひしたい。

### 3. 審 議

【事務局】 皆様のお手元に市長の所信表明をお配りした。所信表明は市長が選挙を終え最初の定例会で今後4年間の方針を述べたもので、中期的なことが掲げられているので、総合計画策定の参考になるだろうということでお配りした。また、「所信表明において策定を表明した計画」の一覧表も、あとでご覧いただきたい。

本日の部会では、基本計画について、この部会の議論が不足している点などについて審議していただきたい。また、重点プロジェクトや地区別の基本的方向について今後2回の部会で議論していただくが、それに関連することがあれば、話をしてほしい。

【委員】 総合計画と個別計画の整合性やマッチングは、どこの部署で整理しているか。

【事務局】 総合計画を所管している総合計画課で担当している。

【委員】 詳細を見て動いているか。

【事務局】 詳細のすべてとは言いがたいが、おおまかに把握している。先ほどの全体会議において、素案の中に審議会委員の意見を反映させた部分について報告させていただいたが、4章と5章に関して何かあれば質問していただきたい。

今後の審議スケジュールとしては、今日と11月17日、27日の部会審議で、ある程度基本計画の審議、重点プロジェクト、地区別の基本的方向について話をまとめていた

だいて、12月16日の全体会議で報告していただきたいと考えている。

今日は、重点プロジェクトと地区別基本計画の議論までは行けないと思うので、これまでの懸案事項、4章と5章の分野で言い足りないこと、少し先を見て議論が不足している部分を出していただき、今日だけで議論が全部終わらなくても、11月の2回の部会で、これらの審議項目を議論していただきたい。

**【委員】** 現在の総合計画では「重点プロジェクト」や「地区別の基本方向」のようなものはあるか。

**【事務局】** ある。現在の総合計画書に載っているとおりである。

**【委員】** どういうものを吸い上げて現計画の方向性を作ったかは、現在の計画書を見れば分かるだろうか。

**【事務局】** 現在の総合計画を見れば分かると思う。

**【委員】** テーマを何にするかは別にして、これまで検討してきた中で何を重点にするかという話か。

**【事務局】** そうである。会長から全体会議の中でメリハリについて話があったように、章ごとのメリハリ、総合計画全体のメリハリを考えていただきたい。それが発展して重点プロジェクトになる場合もあると思う。メリハリを意識し、また都市像とのつながりを意識しながら議論していただきたいという会長の話だったと思う。

これから審議する項目と考え方、今お話したようなことに基づいて審議を進めていただきたい。今までの議論で不足している部分からお話をいただけたらと思う。今日の全体会議で私が説明した修正点への質疑があればよろしくお願ひしたい。

全体会議で話が出ていた市営住宅や道営住宅について、11月までの間にご意見があればいただきたい。

**【部会長】** この部会に関することで、まず素案の6ページ、基本目標5「生活・都市基盤」が今回変更ということで提案された。これはこの間の会長、部会長会議で、会長、他の部会長からこういう案も出ていたのでこのように変えたのだがいかがか。以前は「都市基盤・建設」だったのだが、生活という市民レベルの言葉を使うということで変えた。これはよろしいか。

**【委員】** 結構である。

**【部会長】** 会長が言ったように、素案の6ページで「めざす都市像」として、「希望」、「交流」、「成長」という3つの都市像につながる内容になっていなければいけないので、このへんのことも踏まえて、変更された部分などお気づきの点があれば出していただきたい。修正した部分を皆さんに見ていただくのは初めてか。

**【事務局】** 初めてである。

**【部会長】** 一字一句の表現の確認までは、この時間だけでは無理だと思うので、次回までに読んでいただいて、また検討したいと思う。

今、課長から話のあった「全体を通じて議論が不足している点」について、お気づきのことはあるか。過去の部会でも長い時間話したところと、短い時間で済んだところとあると思うが、この部分ではこんな視点が抜けていたのではないかとということでもいいと思う。

**【委員】** 総合計画は、どこかに偏るわけにもいかないのだから、全体をオーバーラップして包括してもらえばいいと思う。細かいことまで意見を出して部会で議論してきて、新しいものをきれいに拾い上げてもらえていると思っている。

**【部会長】** ほかの方はいかがか。たとえば「工業の振興」のところはどうか。

**【事務局】** 「現況と課題」を追加した。

**【部会長】** 「第4節 企業誘致・新産業の創出」と一緒にしてはどうかという話も出たのだが、結局目玉だからということで、残したということか。

**【事務局】** そうである。現在の総合計画の中では、今日お配りした素案の「第4節 企業誘致・新産業の創出」と「第2節 工業の振興」を合わせた形で、工業の分野が表現されている。ただ、企業誘致と新産業は工業に限らず、産業全般にわたってあるということを考えて、今回は新たな節に分離した。

**【部会長】** 先ほどの全体会議で39ページ「第5章第1節 市街地整備の推進」の中のJR北広島駅とJR上野幌駅の話が出た。また、40ページ「第5章第2節 居住環境の整備」の中の道営住宅の空きの問題などがあつた。そのままの表現でクリアできるかどうか、そのあたりが全体会議の中で指摘されたと思うが、その辺で意見があつたらお願いしたい。ただし、上野幌駅は札幌市にあるが。

**【委員】** 札幌市にあるので議論のしようがないということで、駅と一体型で周辺の開発を検討しなければならないので、駅がどんなふうになるか全く見えない中では難しいという話を聞いた。

**【部会長】** 西の里地区からのお話で気持ちはわかるのだが、現状と課題のところでは上野幌駅周辺の開発整備に触れていることでは足りないということか。

**【事務局】** 基本的方向で触れるということなのかどうか。

**【委員】** 札幌市やJR、双方向を見つつやっていくといったように、何か一言入れたらいいのではないか。

**【事務局】** 公表には間に合わないが。

【委員】何か文言を入れないと、上野幌駅は札幌市にあることも知らないのだと思う。

【委員】ただ、あの周辺は今色々あり商業施設等もある。

【委員】地目は違うのではないか。

【委員】用途変更をしない限りあそこの開発はできない。

【事務局】札幌市側は、ほとんど市街化区域だが、北広島側は市街化調整区域。ただし、開発が不可能かというところではない。

【委員】現状でできる範囲の開発しかしてないという感じを受ける。当然、市街化区域にしてほしいなどのように地元の方から意見は出ると思う。

【委員】虹ヶ丘団地は全部売れているのか。

【事務局】正確には分からないが、相当売れていると思う。札幌市にあるか北広島市にあるかは別にして、駅の近くに住宅地があるということから考えると、何らかの活用策はあるだろうと思われる。

【委員】上手に表現してあげられないか。

【事務局】この部分については、市民や議員からもいろいろと意見があるところで、微妙な表現になるかと思う。

【委員】ちょっと問題があるかもしれないので何となく触れるような形ではどうか。

【委員】変に書くと、札幌市に対する越権行為になる場合もあるのでそれはどうか。書き方は非常に難しい。

【委員】道の指示を仰ぎながら、開発の全体像を見きわめつつということではどうか。

【委員】あそこは40年か50年くらい前は、一大住宅地をつくるという開発のビジョンがあったようだ。

【委員】札幌市へのメリットはあるかもしれないが、北広島市へのメリットはそう感じられない。

【委員】札幌市との関係を構築しながら開発していくというのはどうか。

【委員】防災の面、それから連合町内会等、厚別では連携をとっているようなので、何か起こったときは頼りになりそうだ。

**【事務局】** 私の予想では、総合計画策定の最後の段階まで、なかなか答えが出ないのではないかと思う。

**【部会長】** 一応緩和していくという、そういう認識として一つにしていくか。それから、道営住宅や市営住宅のところだが、市営住宅の入居率はいいわけだし、実際に必要とする人たちはいる。

**【委員】** 前回までの話では、道営住宅のこれからの構想を道がはっきり出していなくて、非常に組み立てにくいという整理だった。行政レベルで言うと、道営住宅とともに市営住宅を整備すると整理するしかないか。

**【委員】** 道営住宅の建替えのために市から補助金を出すか。道の予算で建替えするのではないか。

**【委員】** 市から道に対して要請することはあるか。

**【事務局】** 要請は可能だが、簡単に実現するものではない。

**【委員】** 市営住宅は道に比べると新しい。道営住宅を新しくして需要があるのかという調査を既にされていると思うが。

**【事務局】** それは道が調査していると思う。

**【委員】** その上で建て替えるというのならわかる。

**【委員】** 低所得者向けの住宅で、入居基準をはっきり決めてほしい。

**【委員】** 低収入になったということで、戸建て住宅を売却して、お金をたくさん持っているけれど入居している人もいるようだ。

**【委員】** 個別計画での話だから、全体とは違う話ではないか。

**【委員】** 今後は、むしろ4章と5章の施策を重点的にやっていたほうが良いと思う。

**【委員】** 次回、木下課長の方でピックアップしてもらえるか。その中から重点化について皆の考えをまとめていくことになると思う。

**【事務局】** さっき申し上げたのは、重点プロジェクトと地区別のまちづくりの方向というものが漠然としていて議論しにくいので、その議論の参考になる事例を示そうということである。それぞれの節にある施策の細かいものをまた書くということはないつもりである。9月4日に配った資料の中に、たとえば、スポーツの施策にはこれだけ書いてある。これにも載っていないようなものをまた皆様から出してもらうことまで

は、想定していない。素案をコンパクトに見やすくということで、今回箇条書きにしたが、最終的に計画書ができた時には、施策の部分はまた文章の形で書くかもしれない。少し分厚くなるのだろうと思う。しかし、9月4日にお配りした資料をはみ出るようなところまではいかないのではないか。その他にも数値的な目標、成果指標というものも入れたい。計画書ができるときには、一つの節として2ページ位になるようなイメージでつくる。場合によっては、グラフを入れたりすることも考えている。もし思いついたものがあれば出していただきたい。

**【委員】** 全体会議での部会報告の時にも感じていたのだが、非常に施策的な報告項目が多かった。この部会は、他の部会に比べて具体的な話が多く、具体的な表現が多かった。

**【委員】** 報告が終わった後も会長から、「具体的なものや余り細かいものは取り上げられないかもしれない」という話があった。会長の書いた資料にも書いてある。でも、市民目線というのは具体的な話が多いのではないかと思う。

**【委員】** 総合計画はあくまでも総論で、各論はないのだといっても、さっきの上野幌駅の問題などは各論である。たぶん市民説明会の中で総論だけを言っても、分かってもらえないところがあると思う。

**【委員】** ある程度は具体的でいいのでは。

**【事務局】** 素案にも各論は入っていると思っている。話の方向として、市民目線で市民感覚を大事にするのだったら、具体的なことを積み上げていって、最終的に計画書にどう書くかということを考えれば、それはいいのだと私は思う。特に「産業と都市基盤」という分野では、具体的なことを抜きにしては、話が成り立たないようなところもあると思う。

**【部会長】** 具体的にどこという発言は絶対出てくる。

**【委員】** 全体会議でも具体的な議論もあった。その上で全体を包括、まとめていくと言っていたらいいのではないか。それぞれの立場の代表の方とは具体的な意見を取り交わした。

**【委員】** 観光についての議論だが、観光資源は北広島市にはもともとあまりないと私は思う。

**【委員】** 観光資源は、今変わってきていて、パールライス工場に観光バスが来るようになってきている。昔のように景色がいいからとかではない、もっと違う角度でものを見たがる時代だ。北広島でも探してみたら、色々とあり得るかもしれない。

**【部会長】** 観光ガイドにあまり書かれていないのか。

【委員】新しい観光資源の発掘として、今までとまったく違ったところにスポットライトをあてていかないと北広島にはなかなか観光資源はない。

【委員】それはぜひつけ加えてほしい。

【部会長】新聞社の印刷工場の見学というのものもあるのだが、そういったものをもうちょっと広げれば、大曲の工業団地の見学となると結構なボリュームがある。

【委員】市民の意識を高め、北広島にはそういうところがあるまちとして、アピールしていくことが考えられる。

【委員】北広島単独では難しいかもしれないが、広域的な取組みとして、たとえば江別市などの近隣と何かができるのではないかな。

【委員】観光資源をつくる努力をしなければならぬまちかもしれない。

【委員】市としてのPRが足りない気がする。たとえばプロゴルフの大会をやっても、ゴルフ場の宣伝が多く、北広島市としてはせいぜい協賛した程度。テレビやラジオでのPRも一つの方法だと思う。輪厚にはクラーク像があるとか、レクの森、散歩道も何か利用できるのではないかなと思う。

【委員】パークゴルフ場でもつくったらどうか。

【委員】プロゴルフ・トーナメントでホールインワン賞を出すとか。たとえばそういうものに名前を出したら北広島の宣伝になるかもしれない。

【委員】スポーツ合宿村は、すでに道東のほうにあるが、たとえばゴルフの合宿村はどこにもないのでやってみたらおもしろいと思う。

【委員】道都大学があるのだから、あの辺を学園都市のようにしてはどうか。

【部会長】今学校のゴルフ部は少ない。昔ほど盛んではない。今の子どもに合うスポーツではないのかもしれない。

【委員】観光を主体として北広島の農業をもう少し整備してはどうか。また工場や商業もそうだが、大曲の工業団地のように高度な技術を持った印刷会社等が入ってきている。それらの情報を集積するという市役所の機能がないような気がする。市として情報を集積するなどのシステムをつくっていく必要がある。システムが行政として持っていないから、結局情報が飛散したままで、それを集積する何の手段もないということで、計画はいろいろあっても、最後にまとめができていない。先進的な市町村は、必ずそういうものを持っている。それを文章として入れていただきたい。

行政は企業との関わりをもっと密にしていく必要があると思う。戦略的に企業誘致することはすばらしいことだし、ぜひそうすべきだと思うが、今はそれができてい

るとは思わない。市役所には、そういう機能やキャパを持った部署はないと思う。厳しい言い方になって申しわけないが、これからの10年は、それを踏まえてやらなければならないと思う。

市民は、具体的に指摘はしないが、多分上野幌駅周辺の問題にしても、地元の人たちは十分知っていると思う。ただ、意地の悪い言い方になるが、市はどうするかという話になり、それに適切に答えられなければ、市は何もしてないではないかという話になってくる。実際には皆様よくわかっている。その辺に翻弄されないでやっていくためには、やはり行政の中の機構をどうするかにある。最後の行革のところに出てくるのかなと思って期待して見たら何も書いてなかった。年寄りが苦言を言わなければと思った。

**【事務局】** 市役所の中にそういう部局が必要だということか、それともそれぞれの分野で、もっと色々情報にかかわって自分から情報をとっていくということか。

**【委員】** 常時そういう部署を置くべきか、それとも各部署の中にそれを担当できる人たちを置いて、何かあれば集まって各部署へ流すか。戦略課みたいなものを置いてやると危険なのは、その課の人間にテリトリー意識ができてしまうこと。そうではなくて、各組織の中に、担当者やチーフを決めておいて、号令をかけると集まり、色々情報交換をして各部署に持ち帰ってやるべきことはやるということができるようにしてはどうか。意図をくんでいただき、市役所で協議していただくよりしょうがない。

話が飛んで申しわけないが、以前、一村一品運動があった。名古屋の会社の社長さん方が皆、口をそろえてあれは役人のやり方だから失敗すると言った。根本に流通がないからで、ものをつくっても売れない。消費者へどう運ぶかなど構想が何もなくて、各地で何かをつくりなさい、あとは何とかしようという話では絶対だめだと思う。今残っているものはほとんどない。かろうじて残ったのは、流通経路をつかんだところで、たとえば上士幌の農協。上士幌の農協は、東京に事務所を持ち、そこから直接情報を入れてやってきた。情報をいかに整理するかが大事なことだと思う。何かそういうことを入れられないかと思う。

**【委員】** 道路の整備は市が管理しているが、お金のかからない道づくりというそういう表現があってもいいのかなと思う。住民参加、あるいは最初からお金のかからないものをここに盛り込めないか。排雪問題や花壇づくりなど、できることがあると思う。

**【事務局】** すでに一部やっているところはある。

**【委員】** 花壇を最初から造成の段階でつくってしまう。税金投入を考えないで、住民参加の花壇づくりにつなげることができる。

**【事務局】** 素案はこの内容で公表させていただく。これからも議論を続け、原案作成に向けて修正などをしていくが、今すぐに修正するわけではない。全体会議で議論し、審議会としてのまとめを経た上でやりたいと思う。

**【委員】** たとえば地区ごとに色々な意見がある。そういうものはどうか。ただお聞きす



るだけなのか。

**【事務局】** 当然何らかの答えを求められるから可能な限り答えるが、現段階では答えられないものも多いと思う。従来から地域の課題となっているようなこと、今まで議会でも議論されたようなことが多いのではないか。

**【委員】** 恵庭に道の駅がある。大曲でも道の駅をつくるという話があるようだが。

**【事務局】** 北広島のどこかに道の駅のようなものがあったら、客を呼べるという話はよく聞く。

**【委員】** 道の駅はもともと郊外を中心ということで開発局が考えていた。大曲と言えば郊外ではないから難しい。ただ、繁盛することは事実。お客さん集まってくる。ああいうのを市街地につくっても、目的がもともと違うような気がする。

**【部会長】** 今日議論をしておきたいことはあるか。次回に重点ということでお話していただくということになるのでよろしいか。

**【委員】** 事前に資料をファックスしてもらえればある程度考えてから会議に出席することができる。

**【事務局】** 資料に送付できるようにする。

**【部会長】** 重点プロジェクト、地区別の基本的方向の進め方という部分で、できている部分だけでもいいから早目に皆様に配ってほしい。

**【委員】** 部会の分だけでもいいのでお願いしたい。

#### 4. 閉 会

**【部会長】** 次回の部会は、11月17日ということでお願いしたい。

以 上